

熱海海上花火大会の再開

(観光建設部観光経済課)

イベント開催制限の段階的緩和が終了する8月1日以降、適切な感染防止策を講じた上で、「熱海海上花火大会」を再開させます。これは、熱海市の経済を徐々に再始動させ、回復軌道に乗せるため、熱海観光を支えてきた最も歴史的なイベントである8月5日開催の花火大会を検証の場として、観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所と熱海市による「オール熱海」の体制で実施します。

■ 開催条件

- ◎ **感染状況が安定していること**（都道府県（主に東京都・神奈川県など近隣県）をまたぐ移動制限が出ていない状況）

■ 開催方針

- ◎ **三密に配慮した運営**（とくに密集・密接させない工夫を行う）
- ◎ **市民・別荘所有者、宿泊客を中心の開催とし、日帰りでお越しの方には感染対策の徹底を要請**
 - ・ 万が一クラスターが発生した場合、日帰り客の連絡先を把握することは困難であることから、自身の安全のため来訪にご配慮いただき、LIVE 中継の配信により映像で楽しんでいただく。また来訪される場合には感染防止対策の徹底をお願いし、事前に動画配信サイトで「安全な熱海海上花火大会の楽しみ方」を発信する。
- ◎ **花火大会開催意義を明確に PR**
 - ・ 花火の由来である疫病退散、災害からの復興を祈念するとともに、「熱海大火」からの復興の象徴であることを PR

■ 実施に向けた対応

- ◎ **事前告知の徹底**
 - ・ メディアリリース、新聞広告、ホームページ等を活用した事前案内及びビーチ・親水公園エリアでの告知看板の掲出
- ◎ **花火プログラムを凝縮し魅力を高める**
 - ・ 密集を避けるため打上時間を30分から15分に短縮（打上開始：午後8時30分）。
 - ・ 打上数を減らさない演出によりダイナミックな花火を提供
- ◎ **観覧場所での密集を避ける工夫**
 - ・ 市民・別荘所有者には自宅で、宿泊者には客室等での観覧をお願いする
 - ・ 海岸部では、宿泊客専用の観覧場所を設定し、日帰り客との混在を避けるとともに、マスク着用、ソーシャルディスタンス確保のアナウンス、広場やデッキ部にソーシャルディスタンス確保のための目印シールを貼付
 - ・ 付帯イベント「ゆかたで遊ぼう！」や、飲食ブースの展開は、密集・密接をさける観点から見合わせ
 - ・ 接触確認アプリケーション（COCOA）のダウンロードを要請する
- ◎ **開催後の密集を避ける工夫**
 - ・ 従来、観覧客の帰路での集中が見られる、中央交番前交差点を制限し、主に4方向に分散を促す（①ビーチライン側陸橋方面、②サンデッキ・藤沢通り方面、③銀座通り方面、④糸川・初川遊歩道方面）
 - ・ 市民・別荘所有者、宿泊客に対して時差で帰路につくよう要請する
 - ・ JRへ通常開催時の輸送体制の維持を依頼する（臨時運行、車両の増加、入線時間調整による混雑回避）

※8月5日の開催状況を検証し、その後の花火大会の開催方法などにフィードバックし、安全な花火大会を確立